

Ⅱ 教育方針 令和5年度 学校運営構想

(1) 学校教育目標

豊かな人間性を培い、自ら進んで取り組む、心身ともに健やかな児童の育成

(2) めざす子ども像

正しく学べ 明るく生きよ たくましく育て 本気全開！柞田っ子

(3) 本年度の重点目標

心と言葉をつむぎ合い 「温かいかわり」を基軸に 自主・自律に向かう柞田小教育の推進

(4) 児童会テーマ

ありがとう 感謝の心で深まる友情 だいじょうぶ 助け合いでつながる心
最高の笑顔と優しさあふれる柞田っ子

(5) 運営の構想

【学ぶ】 〈基礎部会〉	【律する】 〈生き方部会〉	【鍛える】 〈健康部会〉	【深める】 〈研究部会〉
基礎学力の確実な定着 ・ 学び方の姿勢 (聞き方・話し方) ・ 自主勉強 ・ 石がき	自己有用感の高揚 ・ エールプロジェクト による効力感の醸成 ・ 異学年交流活動 ・ 清掃活動の充実	元気な体と心の育成 ・ 成長の足跡の実感 ・ 不登校(傾向)児童への 温かいかわり ・ ファミプロの充実	子どもが輝く授業づくり ・ 相手意識を高める 話し方 ・ 対話ドリルの充実 ・ 話形の確立

チ ャ ム 柞 田 (情報の共有・連携の日常化と組織的な実践)

① 自他を大切にし、高い所属意識をもてる集団づくり

- ・ 人権・同和教育を基盤とした、一人ひとりの良さを認め合い、磨き合い、高め合う仲間づくり
- ・ 児童自らが理想とする目標を立て、達成に向けて学校の教育活動をリードする児童会活動の充実
- ・ 児童の良さや頑張りを見つけて賞賛し、心を支え、可能性を引き出し、伸ばし高める教職員の姿勢

② 特別な支援を必要とする児童へのきめ細やかで温かい支援

- ・ 「不登校・生徒指導対策委員会」の常設(定期開催)による、全校体制での支援
- ・ 個別の教育的ニーズに応じた対応と多様な選択肢の設定による、様々な困り感に温かくかわる教職員の姿勢
- ・ 外部機関・専門機関との連携による子どもの育ちに個別最適化した支援

③ 高きに和す教職員集団

- ・ 常に高みをめざし、「不易と流行」を大切に自己研鑽に努め、児童を真ん中に考えて行動・判断できる教職員集団
- ・ 協働し、組織として共通理解・共通行動、研究推進ができる、温かく、力強く前進する教職員集団
- ・ SC, SST等の効果的な活用と管理職との情報共有による問題行動、問題事案の未然防止、早期発見、早期対応
- ・ 児童への指導の充実に還元するための、よりよい働き方改革の推進

④ 家庭・地域と共に歩む柞田小教育の充実

- ・ 「天王丘」の定期発行等による積極的な情報発信と誠実な対応を基盤とした信頼関係の構築
- ・ 学校運営協議会を核として地域の教育力を積極的に活用した地域学校協働活動の推進
- ・ 就学前教育施設、中学校等との連携の継続と充実

※ 一校一社会貢献 →→ 楽陽荘との交流・・・児童会、合唱部、全校生からの贈り物等